つちやよしき

インセンティブの働きの強さとある種の恐ろしさを知った。

最近ニュースなどで賄賂について目にする機会が多かったので勉強になった。

棗田進太郎

今日の内容は前置き、序盤、中盤、まとめと構成がはっきりしていて聞きやすいプレゼンだったと思う。

特に中盤の保育園での遅刻についての話は、人間の心理とインセンティブの関係がわかりやすい内容で面白かった。本の内容も面白そうだと感じたので来週のプレゼンも楽しみです。

三木美裕理

自分の担当したところはうまくみんなが考えられるような質問を作れなかったことに反省。

高本恭吾

お迎えの遅刻を抑制させる機能を持つはずの罰金が、かえって遅刻を増加させてしまうという、全く逆の効果を持つてしまうこともあるなど、この本は、直感に反する事実を色々学べて大変興味深いです。ただ、先生が力士の例でコメントされていたように、シロの人もクロだと思われてしまう可能性があるなど、データだけでは判断しきれない部分はあると思うので、この本に対して批判的な読み方が必要だということを身にしみて感じた 90 分でした。

増田光樹

力士と先生と保育園児の親の 3 段階に分かれて話すということをもっと最初に発言しておくのはいい方法だなと思った。また、人の行動は社会的・経済的・道徳的インセンティブによって動かされやすいのも具体例を聞いてよくわかった。最後に八百長の記事を見つけて実際の出来事と結びつけていて理解しやすかった。

籠谷郁吹

今回のプレゼンは 3 部構成になって初めから最後まで説明全て分かりやすかった。

清水陸人

もう少し本を理解しておけば、もっとわかりやすいプレゼンが作れたなと思いました。インセンティブについては、うまく伝えられたかなと思いました。

川端 真由

自分の担当の部分で、もう少し説明を付け加えた方が良かったと思うところがあったため反省している。

崎山綾香

インセンティブの働きによって人の行動が変わるということ在具体例を上げて説明しててわかりやすかった。特に保育園児の親の話は、私自身、お金を払ったら少しぐらい遅刻してもいいと思ってしまったので興味深かった。

金山恵大

インセンティブがその状況において変わって行くということがよく理解できた。今回のプレゼンは今後とても必要になってくるものだと感じた。

白澤卓也

資料とかを配ってくれて楽しく参加できた。説明もわかりやすかった。

西川茉里

今回から、はじめてビブリオバトルで決めた本でプレゼンをして、聞き手もきちんと本を読んでおく必要があるかなと思いました。インセンティブについての説明は授業で聞いた時よりもわかりやすくで驚きでした。八百長など様々な問題を、グループで思考するのはとても楽しかったです。

尾崎星太

本を元に実際の事例を考えていくことが楽しかった。構成も分かりやすくていいプレゼンだったと思う。

新谷

人間の行動は様々なインセンティブによるものであり、そう考えると不正をしてしまったりルールを破ってしまうのも自然なことに思えてしまった。予想した効果が出ない場合もあるので、インセンティブの働きをよく考えることが大事だと感じた。

中井 美裕

本の内容が難しいと感じましたが、うまくまとめられていて質問がわかりやすく、インセンティブについて簡単に考えることができた。

nakcazawa

過去のテキストと比べて、日常的な具体例が豊富で、決して難しい内容ではないと思いますが、これまでのゼミで経済現象は取り上げてきたものの、経済学的な考え方はとりあげてこなかったもので、今回は脳みそをこれまでとは違ったふうに動かさねばならず、その点で苦勞した人もいたかもしれません。文章量が多くなっているので読み進めるのに時間を要した人もいるでしょう。

この本の基本的な書き方は、ある問いに対して、仮説的な答えをいくつか挙げて、それらを一つ一つ吟味して、つじつまの合わないもの、可能性の低いものを消去していき、最後に残ったもの（一見したところ私たちの直観に反するもの）が正解で、それは私たちの行動のインセンティブに最も強く働きかけるものになっている、というものです。人間の直観は有益ですが、同時によく間違えます。僕たちは直観に反するものをなかなか受け入れようとしません。経済学はしばしば私たちの直観に反する答えを示してくれますが、これこそ経済学が最も活躍できる場面です。僕は自分の専門上、哲学的思考と歴史的思考と経済学的思考を場面に応じて適宜使い分けていますが、これができるようになれば社会に出てから鬼に金棒なので、学生時代にぜひ身に着けて欲しいところです。

今回のプレゼンは、担当者に対するコメントは特にありません。三人で分担して、上手にやっていました。僕としては、フロアの皆さんの関与（反応）の積極性をもっと求めたいところです。21期生は、プレゼン担当に当たった時、本当にきちんと準備していると思いますが、テキストを読んでいるのがプレゼン担当者だけの場合が多く見受けられ、それがプレゼンのやり方の固定化・マンネリ化につながらないかと危惧しています。